（様式－1）

災　害　速　報

関東支部

発生日時	令和7年2月7日　（金曜日）8 時38 分							天候	晴	
災害の程度	死亡　　名		負傷　1名		職種　電工		年令39 才		経験年数24年	
工事の種類	調査 測量	伐　採	運　搬	仮　設	基　礎	組　立	足　場	架　線	撤　去	その他
災害の種類	墜落・転落	転　倒	物の飛来・ 落下	崩壊・倒壊	はさまれ・ 巻き込まれ	切れ・ こすれ	感　電	その他		
原　　因	作業準備 の不良	作業方法 の不良	工具防具 の不良	電気工作 物の不良	作業者 の過失	共同作業 者の過失	その他			

災害の状況

【件名】鉄塔建替工事中，停止状態の誤認に起因した感電負傷

【発生状況】

被災者は当日の移線作業に向けて，C1腕金にて塔体側に寄せて吊り下げていたがいし連を直吊りにするため，振れ留ロープの端末を持ちながら送り出しを実施

端末を持って送り出した際に徐々に腕金先端へ移動したところ，充電部に接近し感電した。

【時系列】

7:30頃　元請会社，一次請会社にてTBM-RKY実施

7:45頃　被災者は作業員Aと地上での作業着手

8:00頃　作業責任者は，新№77鉄塔での移線準備のため，○○線2号線（△△線2号線系統）に近づかない範囲での移線準備可否について現場代理人へ確認し許可を得た後，被災者と作業員Aへ○○線1号線側の準備をするよう指示を出した。

※現場代理人は○○線2号線は停止しているものと誤認していた事から9:00からの○○線2号線停止授受を待たずに作業責任者へ作業指示（昇塔許可）を出した。

8:05頃　被災者は停止中（系統に接続されていない線路）の○○線1号線側から鉄塔へ昇塔開始

8:15頃　○○線1号線側，C1付近に到着し移線準備作業を開始

8:20頃　被災者は○○線1号線側，C1付近の移線準備作業が完了し，○○線2号線側へ移動し準備作業を開始した。

※被災者は○○線2号線は停止しているものと誤認していた事から，○○線2号線に近づいても問題ないと考え，作業指示にない○○線2号線側の移線準備に取り掛かった。

8:38頃　災害発生

被災者は，○○線2号線，C1腕金先端と鉄塔塔体間に固縛されたがいし連の固縛を解くため，2号線側，C2腕金に移動し，固縛を解く作業を行っていたところ充電部に近づきC1，2号線側のジャンパー線に接触し感電，その後C3腕金まで墜落した。

8:39頃　緊急停止を要求

8:50頃　救急車現地到着

9:07頃　一次請会社作業員がロープを使用し，被災者を地上まで救助

9:14頃　被災者を救急車両で病院へ搬送，意識あり

9:30頃　被災者が病院へ到着。救急外来で処置

11:50頃　緊急停止した◇◇線1号線，2号線，○○線2号線（△△線2号線系統）の3回線について停止返却

12:30頃　被災者はICU（集中治療室）へ移動　※2/18時点病院にて継続治療中

【被災程度】

全身感電，全身大やけど（植皮の必要性，筋肉壊死の可能性あり）

【服装】

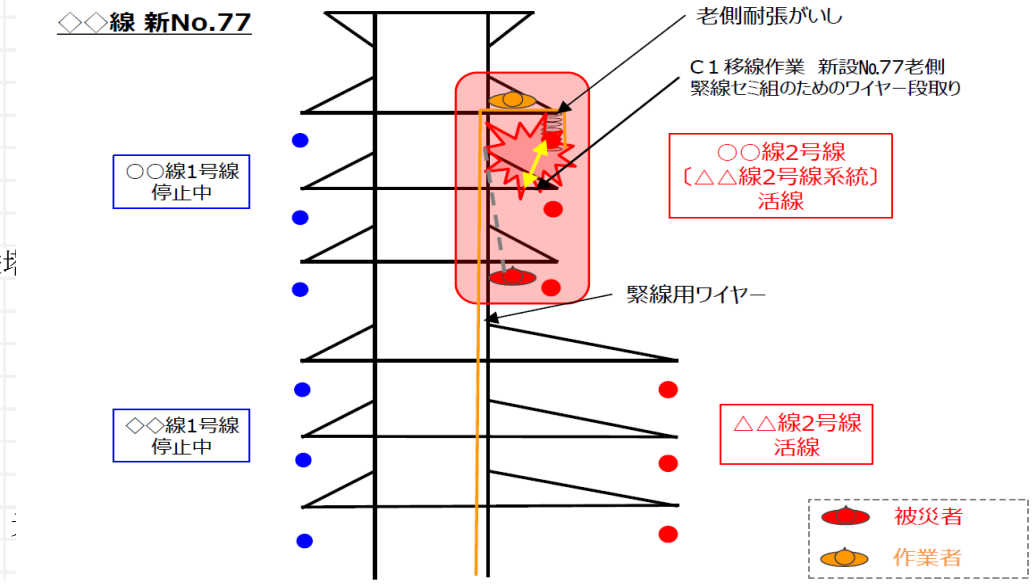
作業服（上・下），安全帽，安全靴，革手袋，墜落制止用器具装着あり

【添付資料】

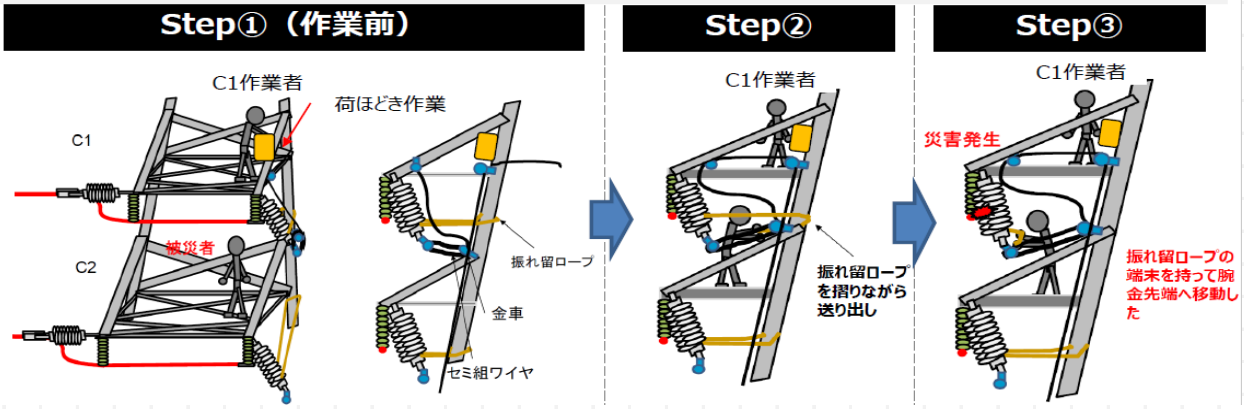
災害概要図

（様式－2）

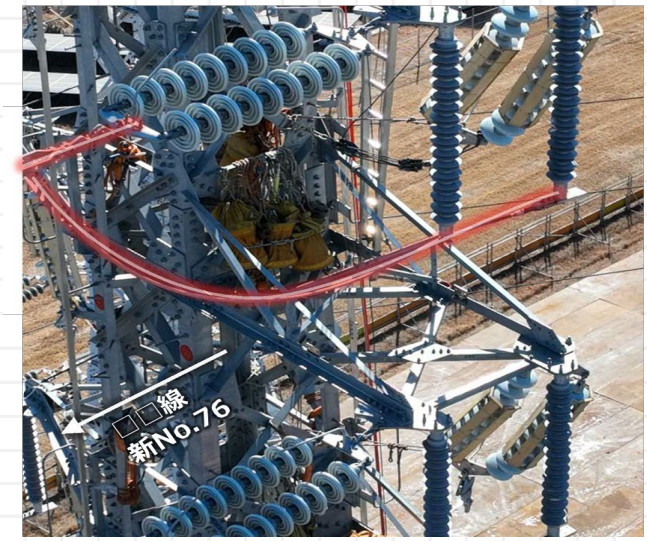
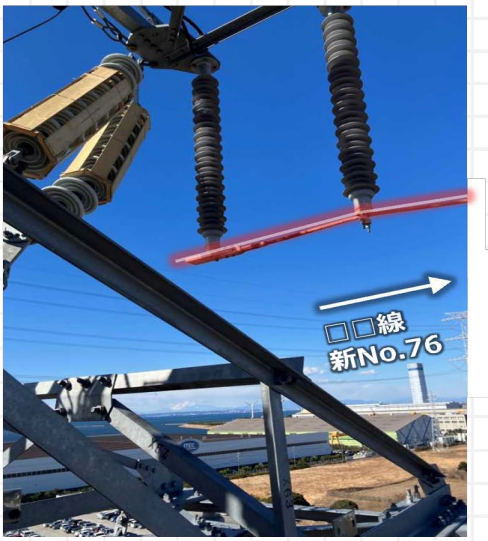
災　害　概　要　図



- 被災者はC2腕金において，C1腕金に吊下げているがいし装置へセミ組ワイヤの設置作業へ着手（Step①）
- その後，振れ留ロープで塔体側に寄せているがいし連を直吊にするため，振れ留ロープを擦りながら送り出しを行った。（Step②）
- 振れ留ロープを鉄塔主柱材にまわして設置していた状態では，送り出し時のロープ長が足りないことから端末を持って送り出した際，徐々に腕金先端へ移動して行き，充電部に接近し感電した（Step③）
- Ｃ１作業者は塔体側資機材の荷ほどき作業を実施していたため，被災状況を目撃していない



<災害発生箇所全景>



<C2腕金，C1電線>